



議題 1

報道機関 各位

記者発表資料

令和元年11月11日(月)

問い合わせ先: 指導1課 特別支援教育室

課長: 山浦(指導1課)、内河(特別支援教育室)

担当: 葛西(指導1課)、篠崎(特別支援教育室)

電話: 829-1661(指導1課)

: 829-1667(特別支援教育室)

さいたま市オリンピック・パラリンピック教育の推進 ～2020年7月に向けて～

さいたま市教育委員会で、日頃より推進しているオリンピック・パラリンピック教育の取組をまとめ、全5回にわたって、「オリ・パラ教育シリーズ」と題して、教育長定例記者会見にて紹介します。

記

1 さいたま市オリンピック・パラリンピック教育の目的及び目指す児童生徒

(1)オリ・パラ教育の目的

スポーツの意義や価値等に対する関心を高めるとともに、理解を深め、豊かなスポーツライフの実現に向けて、スポーツへ主体的に参画する態度を育成すること。

(2)目指す児童生徒像

○スポーツに親しみ、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた児童生徒

○多様性(ダイバーシティ)を受け入れ、共生社会実現に貢献できる児童生徒

○自ら学び行動できる国際感覚を備えた児童生徒

2 さいたま市オリ・パラ教育の取組方針

(1) 小中学校での東京2020大会に関する授業の実施

東京2020大会に対する理解を深めながら、主体的に学ぶことや学んだことを自ら活用したり発信したりする力を伸ばすことを目指します。

(2) 様々な人々との交流を通じた教育の推進

「夢工房未来(みらくる先生 ふれ愛推進)事業を活用し、パラスポーツ選手を講師とした交流を行います。また、市立中学校と市立特別支援学校とのパラスポーツによる交流を行います。

(3) 子どもたちの国際性・社会性を育む体験づくり

「オリンピック・パラリンピック給食」を通じて、様々な国の食文化や気候風土への理解を深め、お互いの文化を尊重する態度を養い、国際性・社会性を育む体験づくりを行います。



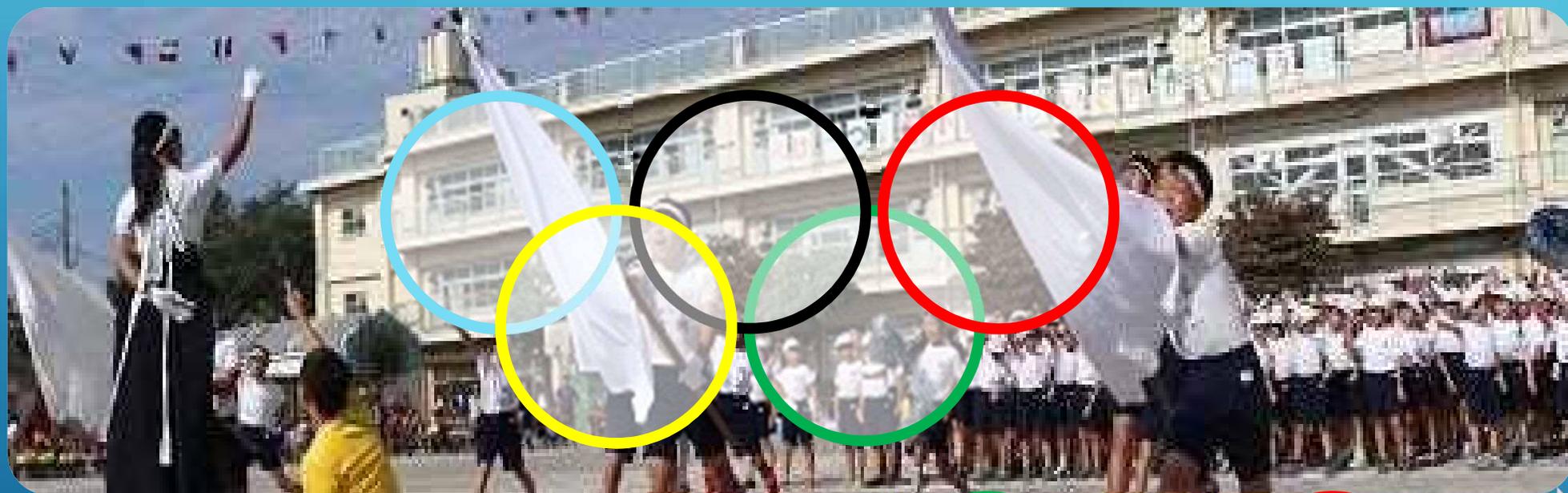
サッカーとバスケットボールの開催会場 さいたま市

東京2020オリンピック競技大会
2020年7月24日～8月9日

東京2020パラリンピック競技大会
2020年8月25日～9月6日



議題1:さいたま市オリンピック・パラリンピック教育の推進 ～2020年7月に向けて～



第1弾

11月

第2弾

1月

第3弾

3月

第4弾

5月

第5弾

7月

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた 「おもてなしビジョン」

市民みんなで 世界につなげよう
O・MO・TE・NA・City SAITAMA

方向性Ⅰ

オリンピック・
パラリンピック
競技大会の円滑
な開催に繋がる
支援策の推進

方向性Ⅱ

スポーツ・
文化・教育の
振興及び普及

方向性Ⅲ

地域資源を
活用した
観光・経済
振興

方向性Ⅳ

大会レガシー
(遺産)の継承



さいたま市オリンピック・ パラリンピック教育の目的



スポーツの意義や価値等に対する関心を高めるとともに、理解を深め、豊かなスポーツライフの実現に向けて、スポーツへ主体的に参画する態度を育成すること。



オリンピック・パラリンピック教育を通じて目指す児童生徒像

スポーツに親しみ、
「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスの
とれた児童生徒

多様性(ダイバーシティ)
を受け入れ、共生社会
実現に貢献できる
児童生徒

自ら学び行動できる
国際感覚を備えた
児童生徒

さいたま市オリンピック・ パラリンピック教育 取組方針

(1)

小・中学校での東京2020
大会に関する授業の実施

(2)

様々な人々との交流を
通じた教育の推進

(3)

子どもたちの国際性・
社会性を育む体験づくり

○オリ・パラ教材を活用
した授業実践
○Beyond2020
マイベストプログラム
○1校1国運動



(1)
小・中学校での東京
2020大会に関する
授業の実施

オリパラ教育研究指定校による授業
10月：北浦和小学校～言葉の金メダル～



さいたま市オリンピック・ パラリンピック教育 取組方針

(1)

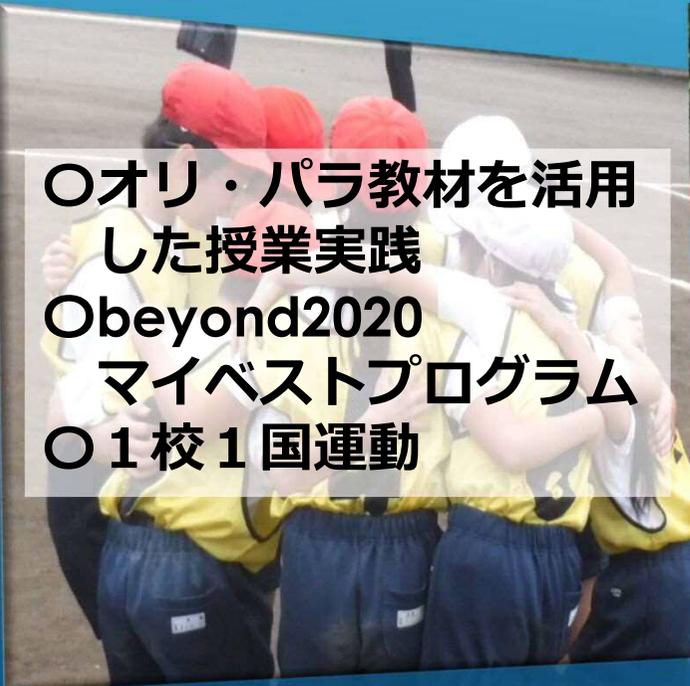
小・中学校での東京2020
大会に関する授業の実施

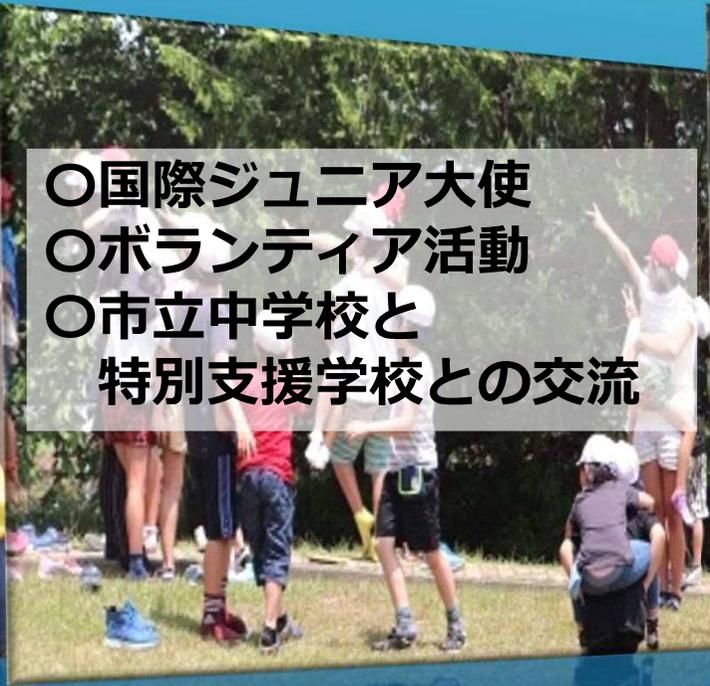
(2)

様々な人々との交流を
通じた教育の推進

(3)

子どもたちの国際性・
社会性を育む体験づくり

- 
- オリ・パラ教材を活用した授業実践
 - beyond2020
マイベストプログラム
 - 1校1国運動

- 
- 国際ジュニア大使
 - ボランティア活動
 - 市立中学校と
特別支援学校との交流



さいたま市オリンピック・ パラリンピック教育 取組方針

(1)

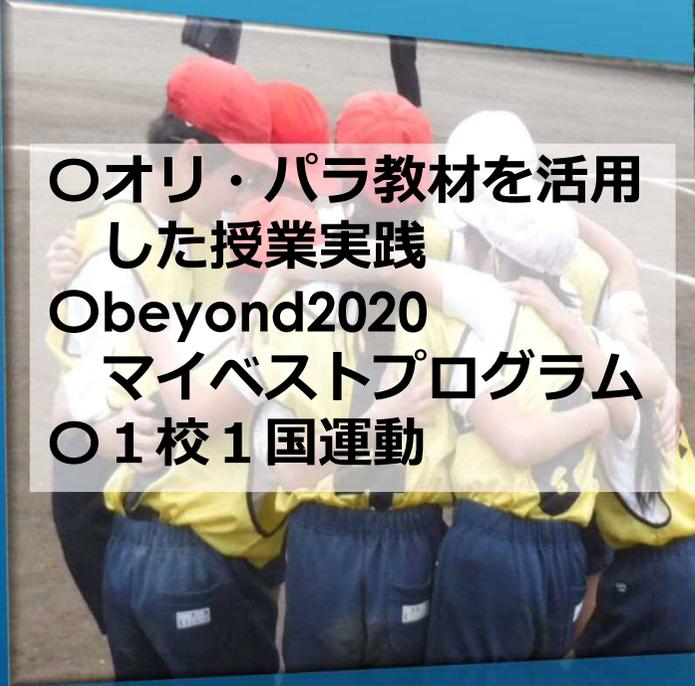
小・中学校での東京2020
大会に関する授業の実施

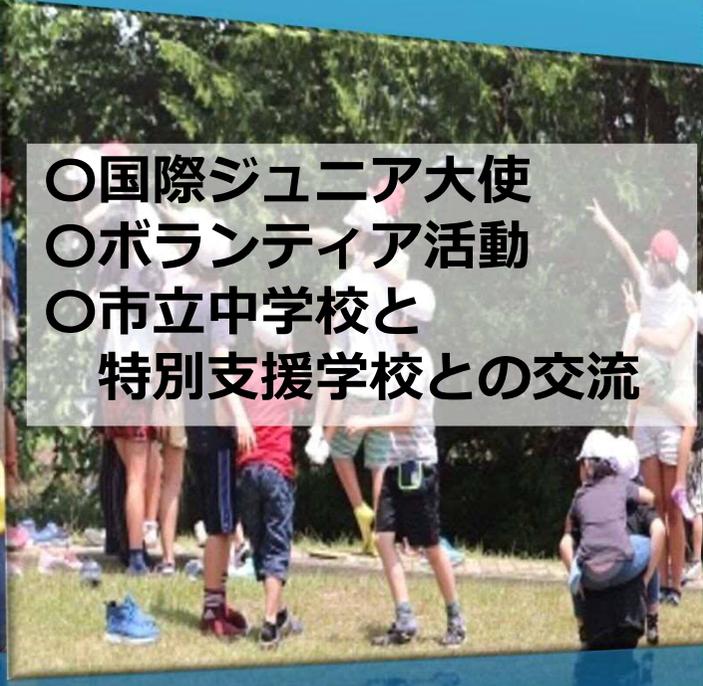
(2)

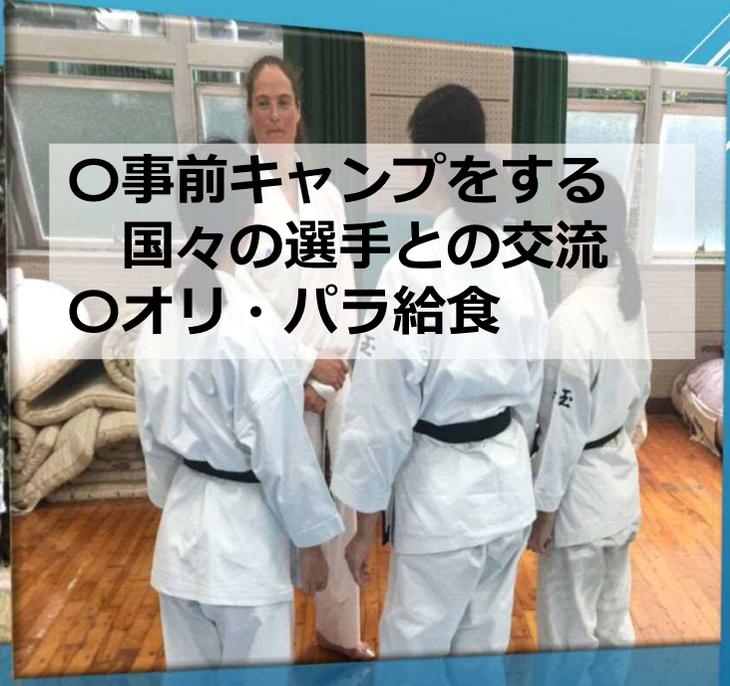
様々な人々との交流を
通じた教育の推進

(3)

子どもたちの国際性・
社会性を育む体験づくり

- 
- オリ・パラ教材を活用した授業実践
 - beyond2020
マイベストプログラム
 - 1校1国運動

- 
- 国際ジュニア大使
 - ボランティア活動
 - 市立中学校と
特別支援学校との交流

- 
- 事前キャンプをする
国々の選手との交流
 - オリ・パラ給食

(3)

子どもたちの国際性・
社会性を育む体験づくり



オランダ選手の事前
キャンプ受入れによる交流
～さいたま市立浦和高等学校空手部～

令和元年9月3日（火）
空手交流を行いました。

(3)

子どもたちの国際性・
社会性を育む体験づくり

さいたま市内のオリパラ給食 ～食を通じた国際理解～



さいたま市立鈴谷小学校
ギリシャ 「ムサカ」
「アヴゴレモノ」

さいたま市オリンピック・ パラリンピック教育 取組方針

(1)

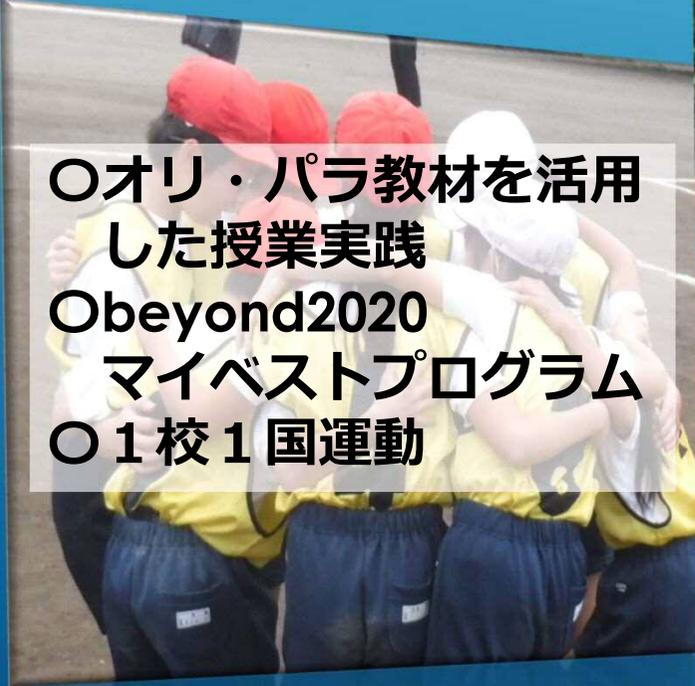
小・中学校での東京2020
大会に関する授業の実施

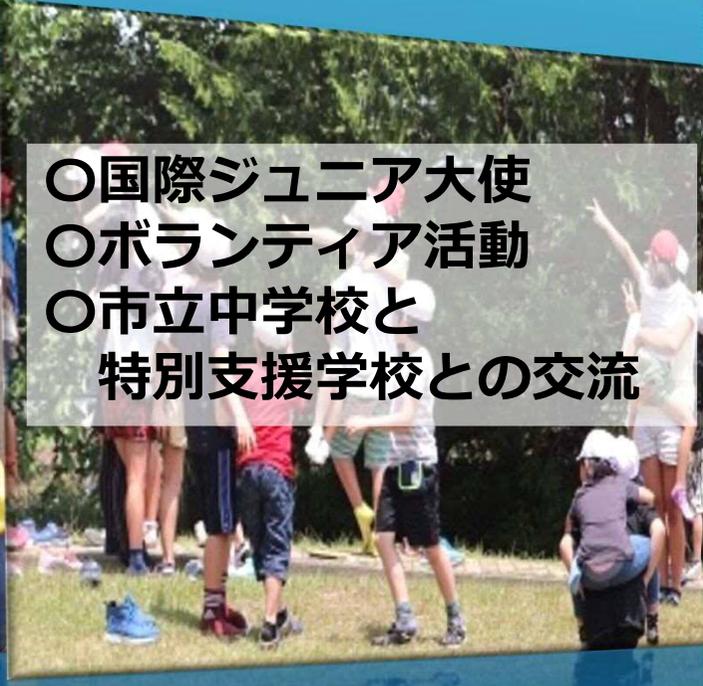
(2)

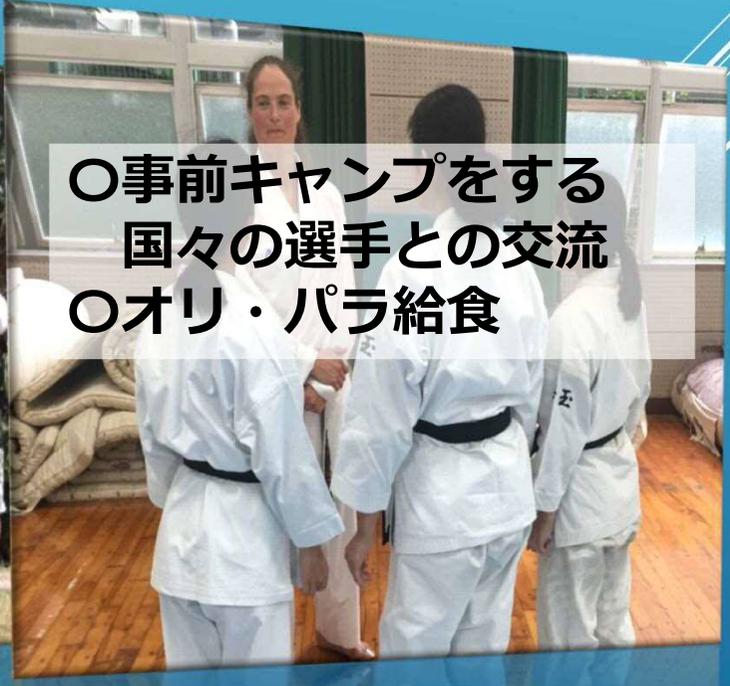
様々な人々との交流を
通じた教育の推進

(3)

子どもたちの国際性・
社会性を育む体験づくり

- 
- オリ・パラ教材を活用した授業実践
 - beyond2020
マイベストプログラム
 - 1校1国運動

- 
- 国際ジュニア大使
 - ボランティア活動
 - 市立中学校と
特別支援学校との交流

- 
- 事前キャンプをする
国々の選手との交流
 - オリ・パラ給食

(2)
様々な人々との交流を
通じた教育の推進

パラスポーツ選手との交流 ～未来くる先生によるふれ愛授業～



アーチェリー
平澤奈古 選手



ブラインドサッカー
加藤健人 選手



ボッチャ
高橋和樹 選手

パラスポーツ選手交流「今後の計画」

月 日	学校名	選手	種目
11月26日	見沼小学校	平澤奈古選手	アーチェリー
12月 6日	田島中学校	加藤健人選手	ブラインドサッカー
1月10日	大宮南小学校	加藤健人選手	ブラインドサッカー
1月17日	馬宮西小学校	加藤健人選手	ブラインドサッカー
1月20日	島小学校	高橋和樹選手	ボッチャ
1月20日	針ヶ谷小学校	加藤健人選手	ブラインドサッカー
1月24日	七里小学校	加藤健人選手	ブラインドサッカー
1月28日	本太小学校	加藤健人選手	ブラインドサッカー
1月29日	城北中学校	加藤健人選手	ブラインドサッカー
2月 7日	美園中学校	加藤健人選手	ブラインドサッカー
2月19日	美園南中学校	加藤健人選手	ブラインドサッカー

(2)
様々な人々との交流を
通じた教育の推進

パラスポーツ(ボッチャ)による 市立中学校と特別支援学校との交流



東浦和中学校特別支援学級と
さくら草特別支援学校生徒交流

大宮西中学校2年生と
ひまわり特別支援学校生徒交流

(2)
様々な人々との交流を
通じた教育の推進

パラスポーツ(ボッチャ)による 市立中学校と特別支援学校との交流

月 日	交流を行う学校
7月 9日	東浦和中学校とさくら草特別支援学校
11月19日	大宮西中学校とひまわり特別支援学校
11月26日	大宮西中学校とひまわり特別支援学校
11月29日	東浦和中学校とさくら草特別支援学校
12月10日	大宮西中学校とひまわり特別支援学校
12月17日	大宮西中学校とひまわり特別支援学校



さいたま市オリンピック・パラリンピック教育の推進 ～2020年7月に向けて～

第2弾

1月

beyond2020
マイベストプログラム

認証書

beyond2020マイベストプログラム

活動名
児童生徒の実践に心をこめた健康・体力づくり

さいたま市教育委員会

銅田真美 長

上記の事業・活動を
beyond2020マイベストプログラムとして認証します

令和元年6月26日

第1弾

11月

第2弾

1月

第3弾

3月

第4弾

5月

第5弾

7月